

美作大学 研究シリーズ集

美作大学生活科学部 食物学科

美作大学生活科学部 児童学科

美作大学生活科学部 社会福祉学科

美作大学短期大学部 栄養学科

美作大学短期大学部 幼児教育学科(専攻科含)

食と子どもと福祉!

目 次

P01	機械制御工学・ロボット工学	則次 俊郎
P02	家庭科教育・家庭科を生かした地域活動・家庭科の学びのネットワーク	小橋 和子
P03	栄養学	澤村 弘美
P04	調理学	藤堂 雅恵
P05	栄養教育・食育	土海 一美
P06	食品学・油化学・ペプチド化学・醗酵工学	納庄 康晴
P07	食品衛生学	橋本 博之
P08	家庭科教育学・食の力を生かした地域活性	松原 洋子
P09	国語教育学・臨床教科教育学	井上功太郎
P10	社会心理学・産業・組織心理学	閻 琳
P11	体育科教育学・遊び論	木谷 晋平
P12	彫刻・木工・工芸・図画工作科教育	森本 太郎
P13	保育学・ランドスケープ	藪田 弘美
P14	特別支援教育・生徒指導	岡田美佳子
P15	地域福祉	小坂田 稔
P16	精神保健福祉・社会福祉学	菅原 明美
P17	社会福祉の原理と政策・貧困に対する支援・対人援助論	武田 英樹
P18	社会福祉学	田中 涼
P19	地域福祉・ボランティア・社会福祉協議会	中島 大棋
P20	社会福祉学	新谷 芳子
P21	社会福祉学・地域福祉・高齢者福祉	堀川 涼子
P22	社会福祉学	松尾 彰
P23	障害者福祉・障害児福祉・社会福祉	薬師寺明子
P24	食生活学・食品科学	桑守 正範
P25	給食・商品開発・食育	住吉 友香
P26	調理学	巻幡 美緒
P27	音楽表現・声楽・絵本と音楽によるおはなしコンサート	鈴木 雪絵
P28	美術教育・造形教育	中田 稔
P29	社会福祉学	加藤 利恵
P30	介護福祉学・介護福祉教育	須江 裕子

機械制御工学・ロボット工学

則次 俊郎

NORITSUGU Toshiro

工学博士

研究内容

高齢化が急速に進む一方で介護人材の不足が喫緊の課題となっている。介護作業に起因する腰痛による介護士の早期離職などがその一因であり、介護ロボットなどの導入による介護作業の労力負担の軽減が求められている。そこで、簡便で安価な介護ロボットの実用化を目的として、介護ロボット研究会の活動を推進するとともに、ベッドと車椅子間の移乗作業や体位変換作業を支援するアクティブエアークッションを開発している。



Key word

介護支援・ロボット・エアークッション・マイコン制御

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 介護士のための労力負担の軽減
- 高齢者や被介護者の自立支援や QOL 向上

フェーズ 2 具体的な連携

- 介護ロボット研究会会員との連携
- 津山市内の介護施設との連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 公益財団法人 橋本財団の研究助成による取り組み

フェーズ 4 代表的な成果

- 則次俊郎：介護用アクティブエアークッションの開発
2023 年秋季フルードパワーシステム講演会講演論文集、
pp.26-28 (2023 年 11 月)



移乗のための身体持ち上げ支援

家庭科教育・家庭科を生かした地域活動・ 家庭科の学びのネットワーク

小橋 和子

KOBASHI Kazuko

修士（家政学）

研究内容

これからの時代を担う子ども達に生きる力を育むために、家庭科の学びを活かし、SDGs の視点を取り入れた探究活動のあり方、活動組織のあり方を追究する。学校教育現場、地域活動において、子ども達にオリジナルのプログラムのワークショップを提供する。学びの見える化、学びの発信による学びのネットワークの構築を具現化する活動の研究に取り組んでいる。



Key word

家庭科・SDGs・食品ロス・地域活動

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 教育現場の子ども達に新たなスタイルの家庭科の学びを提供する
- 地域に子ども達が多様な人々と関わる事ができる学びを提供する

フェーズ 2 具体的な連携

- 津山市内の中学校・高等学校
- 上記以外の県内の小学校・中学校・高等学校
- 津山市役所環境事業課 ●岡山県文化連盟

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 津山市内を中心に岡山県内の学校でワークショップ活動を実践する
- 岡山 SDGs フェア、高梁川流域 SDGs フェスタで地域の子どものために食品ロスをテーマにしたワークショップ活動を実践する

フェーズ 4 代表的な成果

- 家庭科の資質・能力を育む授業の在り方について（2024.7）
日本家庭科教育学会第 67 回大会発表
- 地域の子どものための家庭科教育的な探究活動のあり方（2024.10）
美作大学・美作大学短期大学部地域生活科学研究所報第 20 号



栄養学

澤村 弘美

SAWAMURA Hiromi

博士（学術）

研究内容

栄養状態が人の健康におよぼす影響を調べています。

近年は、妊娠中のビタミン栄養状態が胎児の発育にどのような影響を与えるかについて研究を行っています。

また、地域との連携として、これまでに地域特産品の栄養成分分析や機能性に関する研究などを行ってきました。



Key word

ビタミン・地域特産品

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 地域特産品の高付加価値化

フェーズ 2 具体的な連携

- 国内の大学（大阪青山大学など）や企業との共同研究

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 令和2年度～令和4年度科学研究費 若手研究（B）による取り組み
「口蓋形成初期におけるピオチンの機能解明と口蓋裂予防への応用」

フェーズ 4 代表的な成果

- 編集：「西脇市産旬食材を生かした市民の生活習慣病等予防レシピ」（2018）
- 「農」イノベーションひょうご研究開発プロジェクト支援事業報告書
「もち麦の機能性を最大に活かした商品開発」（2014）



調理学

藤堂 雅恵

TOUDOU Masae

修士（学術）

研究内容

地域のスーパーと共同で、地域住民の健康増進に貢献できるような食育弁当の開発を行っています。また、地域の生産者の方々と連携して、地域の食材を題材とし、子ども達の健全な発育に貢献できるような食育教室の取り組み方法の研究を行っています。



Key
word

調理・商品開発・食育

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 市場調査、お弁当開発の検討
- 小学生親子を対象とした食育教室の検討

フェーズ 2 具体的な連携

- 地域のスーパー
- 地域の生産者

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 地域のスーパーと共同開発によるお弁当レシピの考案
- 小学生親子を対象とした食育教室の実施
（牧場見学、野菜作り、牛乳と野菜を使った調理）

フェーズ 4 代表的な成果

- 地域のスーパーにてお弁当販売



栄養教育・食育

土海 一美

DOKAI Kazumi

博士（医学）

研究内容

専門は栄養教育であり、子どもから高齢者を対象とした食事調査の実施及び解析を行い、課題を踏まえた栄養教育の立案や、行動科学理論やモデルを活用した栄養教育の実践とその評価を行っています。また、スポーツ選手の栄養サポートも行っています。



Key word

栄養教育・食育・スポーツ栄養

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 地域での食育、栄養相談
- 食事調査の計画、相談

フェーズ 2 具体的な連携

- 食育講座（子どもから高齢者まで）
- 食事調査の実施、評価

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 高校生への食育講座
- 大学生を中心としたアスリートに対する栄養サポート

フェーズ 4 代表的な成果

- 著書「食育共創論 地域密着と世代重視の実践から食の未来を拓く」筑波書房（2021 年）
- 論文「大学陸上選手における行動変容ステージを用いた食習慣、食意識及び 2 年間の栄養摂取状況の検討」美作大学・美作大学短期大学部紀要 53：123-127.（2020 年）



食品学・油化学・ペプチド化学・醗酵工学

納庄 康晴

NOSHO Yasuharu

博士（工学）

研究内容

地元食材を利用した高付加価値食品の開発を行っている。廃棄される食材、あるいは未使用の食材に着目し、発酵、熟成、二次加工など様々な技術を使い、その食材の特長を活かした食品開発を行っている。また食品に「コク」を与える技術について研究している。



Key word

食品加工・食品開発・醸造・製菓製パン

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 廃棄ピオーネを使用したスパークリングワインの開発
- 牛脂を利用した食品の開発

フェーズ 2 具体的な連携

- ぶどう農家、ワイナリー
- 牛肉加工会社

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 地元ワイナリーでのワイン醸造

フェーズ 4 代表的な成果

- ピオーネを使用したスパークリングワインの試作
- 地元ワイナリーでの免許取得と醸造、販売



食品衛生学

橋本 博之

HASHIMOTO Hiroyuki

博士（学術）

研究内容

食肉（牛肉）を用いた生食用食肉加工施設の設立、干し肉の製造方法及び微生物学的衛生状況、栄養学的な特徴付けの検討を行っている。

これらの高付加価値食品を商品化することで、地元産業の活性化、地域貢献を推進する研究を行っている。



Key word

生食用食肉・干し肉・規格基準・地域活性化

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 津山市内での生食用食肉を用いたユッケ、牛刺等の提供、干し肉の特徴を提示し、販売拡大につなげる

フェーズ 2 具体的な連携

- 食肉加工施設、自治体、商工会議所
- 市内企業

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 地元の食肉加工施設での加工条件の検討
- 干し肉製造及び特徴の精査

フェーズ 4 代表的な成果

- 生食用食肉加工に関する学会発表（食品衛生学会 2024）
- 干し肉の栄養学的検討結果に関する学会発表（かび毒研究連絡会 2024）



家庭科教育学・食の力を生かした地域活性

松原 洋子

MATSUBARA Yoko

修士（学術）

研究内容

食の魅力、食の力を生かして地域の拠点作りや地域の健康の維持・増進の場を提供していく事を実践。また、地域と大学をつなぐ架け橋作りとして、近隣の農業クラブと大学生の交流会を持ち、農産物の収穫や圃場整備を通して、地域を知る活動を広げている。



Key word

家庭科教育・地域支援

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 地域の交流、活性化のための拠点作り
- 健やかな生活を送る為、食の知識をアップグレードする機会の提供



フェーズ 2 具体的な連携

- 美咲町南和気地区
- 緑桜阜会（美咲町農業後継者クラブ）
- 岡山県美作県民局

フェーズ 3 代表的な取り組み

- R6 年度岡山県 地域の飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業補助金による取り組み
- 緑桜阜会との交流事業



フェーズ 4 代表的な成果

- 大学生による商品開発および発信を地域振興につなげる試み
美作大学・美作大学短期大学部紀要 Vol.69
- 「大学生の活力と学びを地域貢献に生かす試み」～大学生を世代間交流の懸け橋に～
（日本家政学会 中国・四国支部第 70 回大会 学会発表）

国語教育学・臨床教科教育学

井上 功太郎

INOUE Kotaro

教職修士（専門職）

研究内容

批評理論（主に物語論）を援用した、文学教材の研究を行っている。また、教材性を生かした学習デザインや実際の授業場面の分析も行い、広く、新しい国語教育のあり方を模索している。



Key word

物語論・文学・読みの交流

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 国語科授業の質的向上

フェーズ 2 具体的な連携

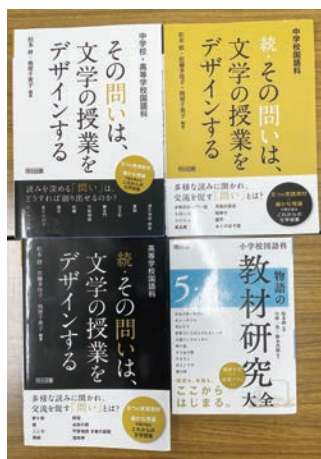
- 小・中学校の授業研究への参画
- 教育雑誌や教員向け書籍での間接的な働きかけ

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 『国語教育』（明治図書）での連載（2024 年 4 月号～）
- 『“新しい”教科書の使い方 小学校・中学校』（教科書研究センター）の作成協力

フェーズ 4 代表的な成果

- 小林一貴・鈴木真樹編著（2023）『小学校国語科 物語の教材研究大全 5・6 年』（明治図書、「やまなし」の部分執筆）
- 松本修・佐藤多佳子・桃原千英子編著（2022）『中学校国語科 続・その問いは、文学の授業をデザインする』（明治図書、「トロッコ」の部分執筆）



社会心理学・産業・組織心理学

閻 琳

YAN Lin

博士（文学）

研究内容

少子高齢化による人口減少の深刻化に伴い、外国人労働者を受け入れる必要性が指摘されている。ところで、外国人労働者の増加によって人手不足が緩和する一方、外国人労働者によるトラブルも増えてきた。そこで、動機づけ研究の観点からトラブルに至る心理的プロセスを明らかにし、科学的根拠に基づいた外国人労働者への支援について検討している。



Key
word

仕事動機づけ・職務満足感・離職意向

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 一般企業や監理団体に対して、トラブルに至る心理的要因や外国人労働者への支援方法に関する知見の提供

フェーズ 2 具体的な連携

- 外国人技能実習生の監理団体との連携
- 外国人技能実習生を雇用している企業との連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 日本学術振興会 科学研究費助成事業（若手研究）の助成：
外国人技能実習生を対象とした仕事動機づけに関する検討

フェーズ 4 代表的な成果

- 閻琳・堀内孝（2019）. 在日外国人留学生のアルバイト職務満足感－自己決定理論に基づく検討－ 心理学研究、90、178-186.
- 閻琳・堀内孝（2023）. 外国人技能実習生を対象とした仕事動機づけ尺度の予備的検討 岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要、55、211-221.

体育科教育学・遊び論

木谷 晋平

KITANI Shinpei

修士（教育学）

研究内容

体育の授業において、主体的対話的で深い学びを実現できるようなクラスワーク型の授業づくりや、ICTの効果的な活用方法を研究している。

地域のつながりをテーマに、遊び、運動、スポーツを介したイベントに関する実践研究を進めている。



Key
word

運動・スポーツ・遊び・体育・スポーツろくむし

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 主体的対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 地域がつながるスポーツイベント開催

フェーズ 2 具体的な連携

- 教育委員会、公立小中学校等の研修会講師
- 美作大学ニュースポーツまつり
- 岡山県「スポーツプロジェクト」講師
- 津山市立弥生小学校学校運営協議会副委員長

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 保健体育の教科書、指導書執筆「中学校保健体育」大日本図書
- 体育の授業に使えるアイデアのWEB上での公開
YouTube チャンネル「ミマキタニ研究所」

フェーズ 4 代表的な成果

- 「スポーツろくむし」商標登録番号取得 第 6722803 号 特許庁 2023
- 「たのしい学校（令和 5 年度冬号）・『研究室：スポーツろくむし』」大日本図書 2023
- 「体育における『学び合い』」美作大学・美作大学短期大学部紀要 Vol.69 2024 など



YouTube「ミマキタニ研究所」

彫刻・木工・工芸・図画工作科教育

森本 太郎

MORIMOTO Taro

修士（教育学）

研究内容

現代はグローバル化の進展や絶え間ない技術革新により予測が困難な時代となっている。そんな中、一人一人が持続可能な社会の担い手として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値の創造が必要である。研究では、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質、能力を追究しつつ、より時代に合った豊かで創造的な表現を目指す。



Key word

彫刻・木工芸・図画工作科

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 主として木を用いたエスキースの制作
- エスキースをもとにした試作品の制作

フェーズ 2 具体的な連携

- おかやま彫刻会等他の作家との連携
- 県内美術教員との連携、研究

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 京展、岡山県展等公募展における作品発表
- 造形に関わる新たな教材、教具の開発

フェーズ 4 代表的な成果

- 京展 市長賞（2回）
- 岡山県展 山陽新聞社大賞
岡山県知事賞
岡山県教育庁賞



2023 年岡山県展出品作

保育学・ランドスケープ

藪田 弘美

YABUTA Hiromi

修士（教育学）

研究内容

子育て、子育てのための社会関係資本の再生に向けたまちづくりをテーマにしています。中山間地域に住む乳幼児に地域の自然環境、物的環境、人的環境を生かした子育て支援の場を提供しています。その実践の在り方を探り、その知見を活かし、人とのつながりの中で、子どもが育つ空間は何かを明らかにしています。



Key word

地域資源・地域連携・乳幼児・社会関係資本・保育園

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 自然体験型環境教育プログラム構築
- 持続的・発展的な親子の居場所づくりのモデル

フェーズ 2 具体的な連携

- 岡山県美作県民局
- 津山市子どもまつり実行委員会
- 日本冒険遊び場づくり協会冒険遊び場情報研究センター

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 福島県ふくしま保育環境改善向上支援事業アドバイザー
- 財団法人こども環境学会主催子ども環境アドバイザー資格認定講習会講師
- 津山市保育協議会研究部会講師

フェーズ 4 代表的な成果

- 外部資金獲得令和3年度（2021年度）科学研究助成事業「基盤（C）」
- 『保育における地域環境活用の意義と実践』古今社（2023）
- 『新・保育内容「環境」ラーニング・ストーリーで綴る学びの記録』教育情報出版社（2023）



特別支援教育・生徒指導

岡田 美佳子

OKADA Mikako

修士（教育学）

研究内容

「障害者福祉」の中でも子どもに焦点をしぼり、発達障害をはじめ障害のある子どもたちや保護者への支援、そして、行政分野を超えた切れ目ない連携が不可欠といわれる「教育と福祉の連携」について、研究を進めています。



Key
word

連携・教育・福祉・障害・特別支援教育

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 発達障害の理解啓発活動
- 支援が必要な子ども達への関わり方サポート

フェーズ 2 具体的な連携

- 津山市内の小学校・中学校
- 岡山県立誕生寺支援学校
- 津山市教育委員会等の行政関係

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 津山市内の小中学校、特別支援学校でのボランティア活動
- 特別支援学校高等部生の産業体験自習における支援活動
- 地域のスポーツ大会での障害者スポーツや発達障害についての理解啓発

フェーズ 4 代表的な成果

- ニュースポーツまつり（美作大学）にて、教育相談の実施
- 「気になる子どもへの理解と支援について」講師活動
- 発達障害の理解啓発活動（チラシ作成、配布）



地域福祉

小坂田 稔

OSAKADA Minoru

博士（学術）

研究内容

多様化・複雑化・複合化した地域生活問題を抱え、孤立化した生活を余儀なくされている個人・世帯を地域の中で、個別支援と地域支援をソーシャルサポートネットワークにより支援して行く実践研究を通して、統合的・包括的支援システム構築の方法を理論的・実践的に明らかにしていく。



Key word

コミュニティ・ソーシャルワーク・地域福祉型地域包括ケアシステム

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 岡山県内市町村の地域福祉支援システムの構築
- 地域小地域ケア会議を中心とした地域住民活動の実践



フェーズ 2 具体的な連携

- 県・市町村行政（福祉・保健・地域づくり担当課）との連携（地域包括ケア会議）
- 県社会福祉協議会・市町村社会福祉協議会との連携
- 地域住民・各種民間団体他との連携（小地域ケア会議・地区社協）

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 地域福祉型地域福祉ケアシステム構築。機能化
- 各種市町村福祉・介護計画（地域福祉計画など）の策定
- 重層的支援体制整備事業の推進

フェーズ 4 代表的な成果

- 岡山県地域福祉支援計画・津山市地域福祉計画・美作市地域福祉計画他の策定
- 地域福祉型地域包括ケアシステムの構築（小地域ケア会議の推進）
- 各市町村における地域見守り体制の構築
- 重層的支援体制整備事業の研修・体制整備

精神保健福祉・社会福祉学

菅原 明美

SUGAHARA Akemi

修士（社会福祉学）

研究内容

研究の目的は、従来の「支援する側」と「支援される側」という固定的な関係を超え、経験者の声を地域資源の創出に反映させる仕組みを探ることである。たとえば、ひきこもり者や精神障害者を支える家族は、長年にわたり治療の協力者として位置付けられてきた。一方で、家族自身への支援が十分に提供されてこなかった。このような状況は、家族の孤立や孤独を招き、社会とのつながりを断つ要因となっている。家族会によるピアサポートや地域で実施される心理教育プログラムは、家族のリカバリーを支える重要な役割を果たしている。以上を踏まえ、本研究ではピアサポーターを効果的に活用した地域づくりを目指し、新たな支援の形を提案するためのプログラムを開発することを目的としている。



Key word

ピアサポート・心理教育・家族支援・リカバリー

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 当事者の体験が、地域資源創出に反映される仕組みづくり
例）リカバリーカレッジ

フェーズ 2 具体的な連携

- リカバリーカレッジみまさか
- 地域家族会との連携
- ピアサポーター交流会

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 公益財団法人 橋本財団 研究助成による取り組み
「ひきこもりピアサポーターのための地域資源創造ガイドラインの開発」

フェーズ 4 代表的な成果

- コ・プロダクションモデルを基盤としたひきこもり支援の可能性と課題
美作大学・美作大学短期大学部紀要 VOL.66. pp67～72、2021年3月
- 精神医療福祉専門職と精神障害当事者とのパートナーシップの研究～リカバリーカレッジ運営インを通じた専門職としての「立ち位置」を再構築するプロセス～
美作大学・美作大学短期大学部紀要 VOL.67. pp27～34、2022年3月



コ・プロダクション（co-production）
を築いていく過程

社会福祉の原理と政策・貧困に対する支援・対人援助論

武田 英樹

TAKEDA Hideki

修士（社会学）

研究内容

地域企業や NPO 法人と大学（学生）との連携による地域創生や地域活性化に向けた実践研究を行っています。協働や連携による取り組みにより、地域がもつ社会資源にどのような α 生み出すことができるか、あるいは新たに醸成される地域の力にはどのようなものがあるのか、さらには、学生にはどのような成長がみられるのかを産学連携による地域活性化における実践研究により検証しています。



Key
word

社会原理・貧困・生活困窮者・社会福祉

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 産学連携による地域活性化
- 学生参加型の地域イベント

フェーズ 2 具体的な連携

- 企業や NPO とのコラボイベント
- 地域創生に取り組む NPO 法人とのコラボイベント

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 美作市内 NPO 法人とのイベントへの学生参加及び実践研究
- 津山市内企業とのコラボイベントの開催および実践研究
- ホームレス支援団体との連携

フェーズ 4 代表的な成果

- 新・社会福祉第 2 版（共著）教育情報出版（2025）
- 新社会福祉士シリーズソーシャルワーク演習（共著）弘文堂（2024）
- 超高齢社会における高齢者介護支援（共著）関西学院大学出版会（2015）
- 総合福祉の基本体系第 2 版（共著）勁草書房（2013）
- 保育現場における相談援助・相談支援（共著）晃洋書房（2013）
- よくわかる福祉財政（共著）ミネルヴァ書房（2010）

社会福祉学

田中 涼

TANAKA Ryo

修士（保健福祉学）

研究内容

国内で生じている生活課題の根底には、社会的孤立や社会的排除が存在していることが多い。国際的にも主軸となっている人権的アプローチは、ソーシャルワーク専門職にとっての中核的原理とされている。これらを踏まえ、ソーシャルワーク専門職が福祉政策の方向性を踏まえた人権的アプローチを実践し、それをサポートする方法の開発に関する研究に取り組んでいる。



Key word

ソーシャルワーク専門職・人権的アプローチ・スーパービジョン・省察の実践

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 現在の日本の福祉政策の方向性を踏まえた人権的アプローチの実践
- 人権的アプローチに取り組むソーシャルワーク専門職に対するサポート

フェーズ 2 具体的な連携

- ソーシャルワーカーやケアマネジャーなどの相談援助に関わる専門職
- 福祉事務所や地域包括支援センターなどの公的相談支援機関
- 社会福祉協議会や NPO 法人などの地域福祉に関係する機関

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 行政機関・社会福祉協議会等が開催する福祉計画策定に関する会議への参加
- スーパービジョンにおけるスーパーバイザーとしての活動

フェーズ 4 代表的な成果

- 田中涼（2024）「社会福祉の公的責任を果たすための地方自治体の役割－包括的支援体制を整備する市町村社会福祉行政に注目して－」、（日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック 第 55 回 山口大会 学会発表）

地域福祉・ボランティア・社会福祉協議会

中島 大棋

NAKASHIMA Hiroki

学士（福祉環境デザイン学）

研究内容

「中山間地域における地域福祉の推進」

人口減少の著しい中山間地域における生活課題を解決し、いきいきと暮らしを実現し、継続していくために必要な地域福祉実践方法の研究。



Key
word

地域共生社会・地域づくり・中山間地域・組織化

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けていくことができる地域づくり

フェーズ 2 具体的な連携

- 美咲町倭文西まちづくり協議会（地域運営組織）との連携
- 美咲町のびのびサタデー（土曜日教育支援）活動との連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 倭文西まち協どんとこい収穫祭等イベントの運営支援
- 〃 定例会議への参加と地域運営に関与
- のびのびサタデーイベントの運営支援

フェーズ 4 代表的な成果

- 2024 年度からの取り組みのため、大きな成果には至っていない。
- 現状、関係人口として地域と継続的に関与している。



社会福祉学

新谷 芳子

NHYA Yoshiko

修士（社会福祉学）

研究内容

権利擁護支援を必要としている人も含め、地域に暮らす人が、本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できるしくみづくりとして、多職種連携に着目しながらネットワークの形成をテーマに研究をしています。

また、権利擁護において、意思決定支援の実践の在り方についても探究しています。



Key word

医療福祉・ソーシャルワーク・多職種連携・権利擁護支援

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 権利擁護支援におけるネットワーク形成のモデル
- 本人の意思を尊重した支援における多職種連携

フェーズ 2 具体的な連携

- 岡山県内の市町村行政
- 岡山県内の権利擁護センター
- 津山市内の医療機関
- 岡山県警
- 岡山県北の警察署

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 真庭市高齢者保健福祉・介護保険運営協議会
- 真庭市男女共同参画推進委員
- 津山・鏡野地域被害者支援連絡協議会委員
- 笠岡市・里庄町成年後見センター運営委員

フェーズ 4 代表的な成果

- 「NPO 法人 A が取り組む法人後見の意思決定支援について」（2021）中国・四国社会福祉研究第 8 号、pp.1-13.
- 学生と取り組む犯罪被害者支援の研究は『美作大学・美作大学短期大学部、地域生活科学研究所所報』で報告

社会福祉学・地域福祉・高齢者福祉

堀川 涼子

HORIKAWA Ryoko

修士（学術）

研究内容

だれもが住み慣れた地域で、自分らしく生活するための「地域包括ケアシステム」の構築を図り、地域共生社会の実現をめざしています。とりわけ認知症の人とその家族への支援を基盤に、当事者とともにその実現を図っていききたいと考えます。



Key word

地域包括ケアシステム・地域を基盤としたソーシャルワーク・認知症支援

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 認知症の人と家族のためのカフェ「おあしすカフェ」での実践活動
- 認知症の理解啓発活動の実施

フェーズ 2 具体的な連携

- 津山市認知症の人と家族の会「おあしすの会」との連携
- 津山市他、美作圏域の地域包括支援センターとの連携
- NPO 法人おかやま地域福祉研究所 COM との連携



フェーズ 3 代表的な取り組み

- 「おあしすカフェ」の実践活動
- 津山市アルツハイマーデー実行委員会への参画
- オレンジライトアップおよび白梅祭パネル展示

フェーズ 4 代表的な成果

- 認知症フォーラムの開催（2021・2022）
- NHK 厚生文化事業団「地域ミーティング」の開催（2023）
- 「オレンジ・ランプ」市民映画上映会の開催（2024）

社会福祉学

松尾 彰

MATSUO Akira

修士（社会福祉学）

研究内容

2004 年児童虐待防止法及び児童福祉法の改正以降、児童相談所と市町村の二元的な相談体制が導入されたことによる連携実践の現状と課題を整理するとともに、相互の連携におけるルール等から生じる連携の促進要因や課題要因を明らかにし、今後につなげる児童相談所と市町村との効率的かつ効果的な連携の方策の開発に関する研究に取り組んでいる。



Key word

児童相談所・児童虐待・市町村・連携

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 児童相談所、市町村の相互連携の仕組み化の実践
- 児童相談所、市町村の虐待対応職員に対するサポート

フェーズ 2 具体的な連携

- 児童相談所
- 市町村（児童虐待対応部署）

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 児童相談所担当者へのインタビュー調査の実施
- 市町村（児童虐待対応部署）職員へのインタビュー調査の実施

フェーズ 4 代表的な成果

- 児童虐待における児童相談所と市町村との『連携』に関する調査・研究
- 調査、研究成果の学会等への発表



障害者福祉・障害児福祉・社会福祉

薬師寺 明子

YAKUSHIJI Akiko

修士（保健福祉学）

研究内容

2000年代に入り、障害の概念が大きく変化している。世界保健機関（WHO）が2001年に採択した国際生活機能分類で「環境因子」という観点が加わり、国際連合が2006年に採択した障害者権利条約、これらを踏まえて国内法も変わってきている。

「障害者権利条約」それを受けての「障害者基本法」では障害を「障害及び社会的障壁」としている。社会的障壁とは、障害のある者にとって、日常生活や社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものとしている。これらの社会的障壁を軽減することを目的として社会に働きかける研究、実践を行っている。



Key word

共生社会・地域生活支援・障害のある人への理解

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 共生社会の実現
- 障害の有無によって分け隔てられない社会
- 障害のある人となない人すべての人の尊厳が守られる社会

フェーズ 2 具体的な連携

- 各地域自立支援協議会
- おかやま発達障害者支援センター
- 各障害者福祉事業所・各社会福祉協議会
- 支援者団体等

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 美作福祉部隊リカヒロメタインジャー
- オープンカレッジ in 美作大学
- Smile Company
- きんちゃい みまさかれっじ 他

フェーズ 4 代表的な成果

- 実践報告『オープン・カレッジ “きんちゃい みまさかれっじ”』
美作大学・美作大学短期大学部紀要 62 号（2017）
- 自分専用の防災行動を計画できるように ゼミで『ほうさいハンドブックたいむくん』を作成
機関誌「手をつなぐ」（2021）
月間さぼーと 787 号（2022）
新ノーマライゼーション（2024）
- フクシノチカラ 美作福祉部隊リカヒロメタインジャー
- 大学内で利用者さんと一緒に販売「Smile Company」



美作福祉部隊リカヒロメタインジャー



Smile Company



オープンカレッジ
in 美作大学



きんちゃい
みまさかれっじ

食生活学・食品科学

桑守 正範

KUWAMORI Masanori

博士（農芸化学）

研究内容

岡山県北の農産物を対象に成分分析を行い、それぞれの農産物に適した加工法・保存法を検討する。またポリフェノールを始めとする抗酸化物質など、農産物に含まれる機能性成分に関する評価も行い、岡山県北の農産物を用いた高付加価値商品の開発を目指す。



Key word

農産物・加工食品・機能性成分

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 農産物成分分析
- 機能性成分分析

フェーズ 2 具体的な連携

- JA 晴れの国岡山
- 津山市ビジネス農林業推進室
- 美作県民局

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 津山産小麦加工法の検討
- 津山産農産物香気成分分析
- 新規加工食品の検討

フェーズ 4 代表的な成果

- 柿渋戻り防止法の発見
- 津山産小麦香気成分の特徴をつかむ
- 津山和牛脂肪酸組成の検討



給食・商品開発・食育

住吉 友香

SUMIYOSHI Yuka

学士（食物学）

研究内容

食のグローバル化の進行に伴い、地場産物使用の衰退が懸念されている。農林水産省でも地場産物の地産地消を推進しており、地産地消を行うことで地域が賑わい、生産者と消費者の距離が縮まり、安心・安全で低価格な食材を購入することができる。この地場産物を使用し、忙しい世代の方々でも気軽に作ることができるレシピの検討や提供を行っている。また、食物アレルギーの方でも食べることができる地場産物を使用したレシピの検討も行っている。地場産物を活用するだけでなく、地域の子ども食堂や小学校などで食育を行い、食に興味を持ってもらえる活動をしている。



Key word

商品開発・地場産物・子ども食堂・調理・食育

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 地域の活性化、食育の推進
- 地場産物レシピの普及

フェーズ 2 具体的な連携

- 津山市内の小学校との連携
- 津山市内の NPO 法人と連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 地域生活科学研究所の研究助成による取り組み
- 美作大学研究助成による取り組み

フェーズ 4 代表的な成果

- 真庭市産プリンセスサリーのレシピ開発
- 毎月、子ども食堂の開催
- 食物アレルギー代替食の検討と実践の論文発表



調理学

巻幡 美緒

MAKIHATA Mio

修士（学術）

研究内容

主に津山産の巨大胚芽米（COCORO）をテーマとして研究に取り組んでいます。これまでに、炊飯した巨大胚芽米（COCORO）の添加が、パンの物性やおいしさに及ぼす影響について研究を進めてきました。



Key word

巨大胚芽米・COCORO・パン・物性・おいしさ

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 巨大胚芽米（COCORO）の機能性を活かした COCORO パンの作製

フェーズ 2 具体的な連携

- 巨大胚芽米（COCORO）生産農家

フェーズ 3 代表的な取り組み

- （株）マルイとの食育弁当等の商品開発

フェーズ 4 代表的な成果

- 炊飯した巨大胚芽米（玄米）の添加が製パン性に及ぼす影響 美作大学・美作大学短期大学部地域生活科学研究所 報第 16 号、pp34-38



津山産巨大胚芽米（COCORO）



焼成後の各種 COCORO パン

音楽表現・声楽・絵本と音楽によるおはなしコンサート

鈴木 雪絵

SUZUKI Yukie

修士（学校教育学）

研究内容

表現活動として、「話すように演奏する（歌う）」「演奏する（歌う）ように話す」ためには、どのような技術が必要か、また、演奏者と聴取者の両者が垣根を越えてその空間を楽しむためにはどのようなアプローチが有効かを研究しています。



Key word

親子・コンサート・うた・絵本・楽しむ

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 観客と演奏者で同じ音楽空間の共有

フェーズ 2 具体的な連携

- 幼稚園、小学校、中学校
- 各自治体の生涯学習課、子育て支援センター、放課後児童クラブ、放課後等デイサービス事業所、その他音楽団体

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 岡山県内の幼稚園、小学校、子育て支援センター、放課後児童クラブ、生涯学習イベント等における音楽イベントの企画・演奏

フェーズ 4 代表的な成果

- 美作市子育て支援センターイベント「絵本コンサート」講師（2023.10）
- 美咲町みなみわけスタンプウォーク「おはなしコンサート」講師（2023.11）
- 津山市（久米支所）格致大学第3回学習会「音楽に親しむ会」講師（2024.7）
- 美作大学附属幼稚園「クリスマスコンサート」講師（2024.12）



美術教育・造形教育

中田 稔

NAKATA Minoru

学士（社会学）

研究内容

主に幼稚園、保育所での造形活動や小学校図画工作科での「造形遊び」を専門分野とし、遊びの連続性や発展性を大切にした保育のあり方や、材料をもとにした保育題材の開発、木育について実践的に研究している。



Key
word

造形遊び・幼児造形・木製玩具

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 遊び方が規定されない玩具の開発
- 地域資源（県産材）の活用

フェーズ 2 具体的な連携

- 現代玩具博物館・オルゴール夢館との連携
- 附属幼稚園・地域の保育所との連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 岡山県公共空間木質化促進支援事業による取り組み

フェーズ 4 代表的な成果

- 中田稔・橋爪宏治：地域の資源を活用した玩具の制作と研究Ⅰ～Ⅴ
美作大学・美作大学短期大学部地域生活科学研究所
「所報第12～16号」（2015～2019）



石ころ積み木

社会福祉学

加藤 利恵

KATO Toshie

修士（社会福祉学）

研究内容

少子高齢化が進む中、地域では高齢者の割合が増加し、フレイル（虚弱）状態にある者も増加している。フレイルを悪化させる要因の一つである社会的孤立に着目し、まちづくりの一環としてフレイル予防を啓発し、地域住民が主体的にフレイル予防に取り組むことができるきっかけを具現化する活動の研究に取り組んでいる。



Key word

地域フレイル予防・社会参加・住民主体



関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- フレイルの理解を深めるための情報発信やワークショップの実施
- 高齢者が興味を持つ活動や学びの場を提供し、社会的なつながりを強化

フェーズ 2 具体的な連携

- 岡山県美作市
- 美作市地域フレイル予防サポーター

フェーズ 3 代表的な取り組み

- フレイルトレーナーとして、美作市地域フレイル予防サポーター養成講座の講師
- 美作市地域フレイル予防サポーターと美作大学学生とのワークショップ
- 令和6年度真庭市地域包括ケア会議研修会



フェーズ 4 代表的な成果

- はすふれシート・カード（フレイル予防の啓発と継続のきっかけとなる資材を、美作市地域フレイル予防サポーターと美作大学学生とで共同開発したもの）

介護福祉学・介護福祉教育

須江 裕子

SUE Hiroko

修士（社会福祉学）

研究内容

介護人材が不足している中、介護人材を広く参入させなければ現場の運営が成り立たない。介護人材は確保だけでなく、多くの人材が介護現場に定着することが望まれる。介護職員が定着するために必要な研修のあり方や介護ロボットの導入についての研究に取り組んでいる。



Key word

介護福祉・介護ロボット・介護職員の人材育成

関連情報

フェーズ 1 実用化イメージ

- 介護職員のための労力負担の軽減
- 介護職員定着に繋がる研修についての提言

フェーズ 2 具体的な連携

- 介護ロボット研究会会員との連携
- 介護福祉士会・介護現場との連携

フェーズ 3 代表的な取り組み

- 津山市内特別養護老人ホーム教育・研修担当者へのインタビュー調査
- 介護ロボット研究会介護業務支援開発プロジェクト

フェーズ 4 代表的な成果

- 特別養護老人ホームにおける介護記録の電子化への試み
～介護ロボット研究会の取り組みを通して～
(第31回日本介護福祉学会大会令和5年)
- 介護職員の専門性と人材育成に関する研究
～入職後の研修プログラムの構築に向けて～



(佛教大学大学院紀要令和7年3月)

研究シーズ集発刊に寄せて

2003年に本学に地域生活科学研究所が開設されました。これは当時、大学院設置を視野に入れ、研究体制の充実や地域課題へのアプローチ等の推進、教員の研究力の向上などを目的としたものです。開設から20年以上が経過し、この間、食と子どもと福祉の分野において様々な研究がなされ、地域産業の活性化、教育の振興、福祉の増進など地域課題の解決に大きく貢献してきました。

「地域立」を標榜する本学は、地域とともに歩むことは言うまでもなく、人口減少・高齢化など憂慮すべき社会課題・問題にも積極的にチャレンジしていく必要があります。このような活動の一環として、当研究所の所員を中心にそれぞれの研究内容や研究成果を収録し研究シーズ集として発刊させていただきます。本シーズ集が産学官連携や地域連携の推進に役立つことを願っています。奮ってご活用いただければ幸いです。

2025年3月

美作大学・美作大学短期大学部
地域生活科学研究所

所 長 則 次 俊 郎

美作大学 研究シーズ集

2025年3月31日発行

美作大学・美作大学短期大学部

地域生活科学研究所

〒708-8511 岡山県津山市北園町 50
